

平成 29 年度上半期（4 月～9 月）

評価区分	今回評価結果
A：順調に進んでいる。	26 事業
B：おおむね進んでいる。	35 事業
C：進捗が遅れている。	4 事業
D：取組内容の見直しが必要。	0 事業

# 上士幌町総合戦略施策検証シート

（平成 29 年 10 月 1 日現在）

1 地場産業で地域の活力を生み出すまち	P 1
2 子育て・教育の充実したまち	P 8
3 健康で安心して暮らせるまち	P 19
4 移住定住による人口減少をくい止めるまち	P 24
5 小さな拠点形成を目指すまち	P 27
プラス・ワン 上士幌町創生包括プロジェクト 上士幌版生涯活躍のまち	P 29

## 1 地場産業で地域の活力を生み出すまち

数値目標	基準値	目標値（H31まで5年間）	達成度(29年9月末)
雇用充足	59人（H27調査）	59人	
新規雇用創出人数	—	30人	12人 / 40%

◇移住施策と連携した地場産業の人材不足解消

KPI

無料職業紹介所の相談件数	300件	達成度(29年9月末)	230件 / 76.7%
--------------	------	-------------	--------------

実施予定事業	事業目標	達成度(29年9月末)	取組内容	評価	現時点の進捗状況及び課題	担当課等
◇無料職業紹介所の開設 雇用確保への対策として、町内の雇用情報をとりまとめて広く発信。移住・定住の流れを生み出す可能性を高める	相談件数 300件	230件 (求人;147、求職;83) 76.7% (採用14名)	・ジョブマッチング、企業勉強会、WEBサイト等による情報発信	B	(進捗状況) WEBサイト等による情報発信を随時行っている。 (課題) 求職相談者の絶対数が少なく、求人事業所へ十分に紹介できない。	町民課
◇重点道の駅「仮称バルーン」整備	新規雇用者数 15人	—	・道の駅基本設計、ナイタイ高原牧場レストハウス基本設計・実施設計の実施。関係団体・住民による「道の駅等整備推進委員会」を設置し、9月末現在2回開催し検討を進めている。 ・各施設の運営主体となる「上士幌町観光地域づくり推進法人(DMO)」設立の検討も同時に行っており、基本設計に関わって進めている。	A	(進捗状況) ・10月中にナイタイ高原牧場レストハウス基本設計が完了し、11月には実施設計業務を進める予定である。 ・「上士幌町観光地域づくり推進法人(DMO)」のコンセプト、組織体制案、事業展開案を作成してきている。 今後、事業計画案・収支試算案の検討を進め、翌年度早々の設立に向けた取り組みを推進していく。	商工観光課

◇農林業の活力向上

KPI

農業生産法人数（H26年4月現在19件）	新規2件	達成度(29年9月末)	1件 / 50%
新規就農・新規雇用の青年等	10人	達成度(29年9月末)	0人 / 0%
青年等就農計画（平成27年4月現在2件）	新規3件	達成度(29年9月末)	0件 / 0%
農業後継者の有配偶率	増加	—	
上士幌町農商工連携補助事業によって商品化した件数	2件/年	達成度(29年9月末)	0件 / 0%
バイオマスエネルギー地域利活用（農業：家畜糞尿、林業：木質チップ）	新規3件	達成度(29年9月末)	0件 / 0%

実施予定事業	事業目標	達成度(29年9月末)	取組内容	評価	現時点の進捗状況及び課題	担当課等
◇新規就農対策事業 本町の主要産業である農業の新規就農対策を推進し、農家戸数と農業者の確保を図る	新規就農人数 3件5人	0件	・経営譲渡による新規就農者1名と28年度面談者1名について、青年等就農計画の認定にむけ農委、農協、普及センターと連携して取り組む。	B	(進捗状況) ・2件の青年等就農計画の認定にむけ、作業を進めている。 (課題) ・引き続き対応を図り、新規就農につながるよう関係機関と連携して取り組む。	農林課
◇家畜糞尿処理バイオガスプラントの導入による家畜糞尿処理対策への支援 ◇畜産業の大型化に伴う家畜糞尿処理対策と発生するバイオガスエネルギーの利活用	バイオガスプラント整備 3か所に対する支援 新規雇用人数10名	新規雇用人数5名	・バイオガスプラント整備に係る支援として、建設に係る経費の一部に対し融資を行う。 ・運営開始に向け新規雇用を行う。	A	(進捗状況) ・建設に係る経費の一部に対し融資を行い、建設が順調に進んでいる。 ・上士幌町資源循環センターで5名を新規雇用している。 (課題) ・バイオガスプラントからの副産物を利用した耕畜連携や新事業の創出に向け、検討を進める。	農林課
◇農業におけるアウトソーシング化への支援 地域農業の効率性・収益性向上と労働力の軽減	新規哺育事業への支援 新規雇用人数 6名		・哺育・育成センターの設立に向け、上士幌町地域資源利活用推進協議会に設立準備会を立ち上げ、施設整備に向けた課題の整理、調査研究を行う。	B	(進捗状況) ・設立準備会を開催し、施設整備に向けた課題の整理を行うとともに、先行事例の視察を実施し、調査研究を進めている。 (課題) ・適正な施設規模とする為、乳牛の増頭計画策定が急がれる。	農林課
◇家庭形成に向けた出会いの機会創出支援（農業後継者）			・上士幌町農業青年カップリングパーティー（JA青年部と十勝管内の女性との交流会）の開催（1月13日予定） ・農業青年婚活交流会（JA青年部と札幌近郊の女性との交流会）の開催（12月8日予定） ・ALLとかち札幌交流会の開催（1月27日予定）	B	(課題) ・参加する青年の確保が難しい状況になっている。	農業委員会事務局
◇森林整備計画の推進			・引き続き、森林経営計画に沿って適正な森林整備を行う。	B	(進捗状況) ・森林経営計画に沿って適正な森林整備を実施している。 (課題) ・森林経営計画に未参画の山林において、伐採後に植栽されてない林地や不在町民所有の山林が放置されている実態がある。	農林課

◇建設業の活力向上

K P I

建設業における求人	充足	達成度(29年9月末)
-----------	----	-------------

実施予定事業	事業目標	達成度(29年9月末)	取組内容	評価	現時点の進捗状況及び課題	担当課等
◇社会資本整備の充実		H29年度予定事業の進捗率は70%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路改良舗装事業 2路線</li> <li>・道路舗装補修事業 3路線</li> <li>・歩道改修事業 1路線</li> <li>・水道施設整備事業(東部上水道取水施設改修)</li> <li>・水道管布設整備事業 5箇所</li> </ul>	A	<p>(進捗状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12区4号線道路改良舗装工事については現在実施中で12月完了予定</li> <li>・まちなか住宅道路改良工事について現在実施中11月完了予定</li> <li>・上土幌40号歩道改修工事10月完了</li> <li>・水道施設整備については10月完了</li> <li>・水道管敷設整備工事については12月完了予定の東部地区配水管更新工事以外は完了。</li> </ul> <p>(課題)</p> <p>今後も継続的に施設改修が必要。</p>	建設課
◇インフラの維持管理事業の推進		H29年度予定事業の進捗率は60%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋梁定期点検事業 37橋</li> <li>・橋梁長寿命化修繕事業 2橋</li> <li>・町道等維持管理事業(機械除草、路面整正、道路側溝等清掃)</li> <li>・公共下水道事業(下水道長寿命化計画に基づき施設改修)</li> <li>・水道施設維持管理事業(東部上水道次亜塩素素注入設備更新)</li> <li>・災害復旧事業(萩ヶ岡橋)</li> </ul>	B	<p>(進捗状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・橋梁定期点検について現在実施中</li> <li>・橋梁長寿命化修繕工事については鉾山3号橋について完了、開発12号橋については現在実施中</li> <li>・町道等維持管理事業については11月完了予定</li> <li>・下水道センター施設等改修については2月完了予定</li> <li>・東部上水道次亜塩素素注入設備更新については10月完了</li> <li>・萩ヶ岡橋の災害復旧工事についてはH30年8月完了予定。</li> </ul> <p>(課題)</p> <p>インフラ施設の老朽化への対応は今後ますます増えてくると予想されるため今後も計画的に改修を行う必要がある。</p>	建設課
◇建設業における人材育成に対する支援			<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節労働者の失業期間中の就労対策として、明渠排水路内の雑木処理等を実施する。</li> <li>・無料職業紹介所事業による支援</li> </ul>	A	<p>(進捗状況)</p> <p>季節労働者の就労対策を実施</p> <p>雇用者数; 29名 作業日数; 9日間</p> <p>(課題)</p> <p>通年雇用化の促進</p>	町民課

◇商工業の活力向上

K P I

空き店舗等における新規開業や新たな利用	5件	達成度(29年9月末) 2件 / 40%
新規商品開発件数(H26 4件)	延べ20件	達成度(29年9月末) 4件 / 20%

実施予定事業	事業目標	達成度(29年9月末)	取組内容	評価	現時点の進捗状況及び課題	担当課等
◇商工業者に対する資金支援			・上士幌町中小企業融資条例に基づき、資金支援を行う。	A	(進捗状況) ・上期(4—9月)の利用実績は13件、50,030千円の融資 (運転資金8件、設備投資5件) ・前年実績6件(前年同期は2件)を既に大きく上回っている。 ・平成29年2月から「融資枠拡大」と「保証料全額補給」の改善を行った事から、大幅な利用者増に繋がっている。 ・地域経済活動を活性化させる資金の需要と供給が伸びていることは望ましい状況と捉えている。	商工観光課
◇商店街活性化支援			・中元大売出し事業(10%還元セール)実績 売出期間:7月20日~8月7日 売上総額:51,482千円(目標額 50,000千円) 交換者数:1,207人 【今後予定事業】 ・歳末売り出し事業(10%還元セール) 売出期間:12月 ・新春大売出し事業 売出期間:平成30年1月 ・年始販売促進事業 開催日:平成30年1月2日	A	(進捗状況) ・上半期実施した事業は、売上目標額に達している。 (課題) ・商店街の賑わいを継続的に支援していく必要はあるが、その事業の内容については、より効果的な展開をしていく必要がある。	商工観光課
◇起業支援及び空き店舗対策の推進			・起業希望者に対して、創業支援促進事業により資金支援を行う。	B	(進捗状況) ・上半期においては、創業支援促進事業の利用者が無かった。広報等による周知を更に行う必要がある。 ・商工会が主管し、商店街にある「遊ゆう館」(旧かみしほろ情報館)の利用に向けた公募・事業者決定を行い、コーヒー・スパイス・手作り品等を販売する店舗が開業した。(クラフトキッチン) ・「遊ゆう館」での事業は、本町には無かった手作り作品(商品)を取り扱ってい	企画財政課 商工観光課

					る。作品を通じて、交流サロンになることも目指している。	
◇商工業者の後継者育成・雇用確保			・後継者に対して、創業支援促進事業により資金支援を行う。	B	(課題) ・上半期においては、創業支援促進事業の利用者が無かった。広報等による周知を更に行う必要がある。	商工観光課
◇地域資源を活用した商品開発			・地域資源を活用した新商品の開発に対して、資金支援を行う上士幌町農林商工等連携・ビジネス創出促進事業について、グループ申請を個人事業者でも申請できるように平成29年度から改善し、利活用の促進を図っている。	B	(進捗状況) ・上半期は2件の申請があり、商品開発や調査が行われている。(①冷凍コロッケ開発、②果物生産調査) (課題) ・新しく地域資源を活用した新商品の開発をしていく人や事業者を発掘していく必要がある。 ・道の駅等の整備が予定されており、多様な商品を開発していくことが必要となっている。	商工観光課

◇観光産業の活力向上

KPI

観光入込数：H26年360千人	415千人(15%増)	達成度(29年9月末) 0千人 / 0% (未集計)
-----------------	-------------	----------------------------

実施予定事業	事業目標	達成度(29年9月末)	取組内容	評価	現時点の進捗状況及び課題	担当課等
◇インターネット不感地帯の解消促進 ・インバウンド等観光客誘客に求められる高度情報網整備			・各施設での利用実態調査を実施する。	B	(進捗状況) ・建設を予定している道の駅ではWi-Fi環境を整備する予定である。 ・他道の駅の整備状況の調査を行った。 ・レストハウスは今シーズンも問題なく利用できた。 (課題) ・ぬかびら源泉郷以北の携帯電話不感地帯について、通信事業者によるエリア拡大は採算性等の問題から整備が進まない現状であり、通信事業者に整備を要望するとともに、町独自の基地局整備について検討する。 ・農村地域における光回線等による情報通信基盤の更なる高速化・安定化が求められているが、整備には多額の経費を要するため、通信事業者では採算性等の問	商工観光課 企画財政課

				<p>題から整備が進まない現状である。通信事業者に対する整備要望を行いながらも、コストを抑え本町の状況に合った町独自の新たな基盤整備や既存FWA（無線通信網）の改善について検討する。</p>	
<p>◇インバウンドを含む観光客誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人観光客の受け入れ環境整備、効果的な観光プロモーションの展開、情報発信の強化</li> <li>・滞在・体験型観光プログラムの開発、担い手となる人材の育成</li> <li>・老朽化した観光施設等のユニバーサルデザインに配慮した再整備</li> </ul>	<p>観光客入り込み数</p> <p>360千人（H26）→ 415千人（H31） 15%増</p>	未集計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町全体の観光戦略を再度見直し、観光地域づくりのための「上士幌町観光地域づくり推進法人（DMO）」形成・構築に向けて検討を行い、入込客数増を目指す。</li> <li>・引き続き体験パンフの制作、体験イベントを実施。</li> </ul> <p>【今後の予定事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の「上士幌体験マルシェ」の実施。</li> <li>・インバウンドプロモーションとして広域連携事業（北十勝4町）で東アジア地区の旅行博に出展。</li> <li>・広域連携事業でインバウンド向けに、タクシー、レンタカーによるモデルルート作成と試行を実施。</li> </ul>	<p>（進捗状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係団体、住民による「DMO設立検討委員会」及び「プロジェクトチーム」を設置してきている。9月末現在、検討委員会は2回開催、プロジェクトチームは3回の会議開催と3回の視察調査を実施し、検討を進めている。</li> <li>・「上士幌町観光地域づくり推進法人（DMO）」のコンセプト、組織体制案、事業展開案を作成した。</li> <li>・上半期においては、体験パンフの制作、体験イベントである「上士幌体験マルシェ」を7月～8月に実施してきている。</li> </ul> <p>「上士幌町観光地域づくり推進法人（DMO）」のコンセプト、組織体制案、事業展開案を作成した。</p> <p>A （課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上半期の観光入込は、統計が発表されていないが、本町の傾向としては「週末の天候に恵まれたこと」「タウシュベツ川橋梁の崩落情報」「士幌町道の駅リニューアル開業」などの要因により、増加と想定している。帯広市や近郊の方が北へ向かう流れとなっているので、継続に向けた取り組みが必要となっている。</li> <li>・ナイタイ高原牧場レストハウス、道の駅供用を視野に、戦略的な観光施策を取組んでいく必要がある。その中核となるDMO法人の設立に向けた取り組みを推進する必要がある。</li> <li>・今後、事業計画案・収支試算案の検討を進め、翌年度早々の設立に向けた取り組みを推進していく。</li> </ul>	商工観光課

◇企業誘致

KPI

新規雇用者数	30人増加	達成度(29年9月末) 12人 / 40%
--------	-------	-----------------------

実施予定事業	事業目標	達成度(29年9月末)	取組内容	評価	現時点の進捗状況及び課題	担当課等
◇企業誘致対策事業	新規雇用者数 30人	12人 40%	・上士幌町の資源、暮らしやすさを首都圏にてPRするため、ニセコ町、中標津町との3町合同企業誘致セミナーを開催する。	B	(進捗状況) 地域経済循環創造事業交付金の活用により、旧北居辺小学校を改修した十勝製菓株式会社の製造工場が稼働を始め、新たな雇用が生まれた。 また、テレワーク事業を活用し、株式会社トラストバンクがサテライトオフィスを設立したことにより、新たに雇用が生まれている。 (課題) 新規雇用があっても、町内では働ける人材が不足している状況にある。移住者等へのPRを強化する必要がある。	企画財政課

◇地産品の消費拡大

KPI

特産品のレシピ開発	30品	達成度(29年9月末) 29品 / 96.7%
-----------	-----	-------------------------

実施予定事業	事業目標	達成度(29年9月末)	取組内容	評価	現時点の進捗状況及び課題	担当課等
◇ふるさと納税特産品消費拡大プロモーション	レシピ開発 30品	29品 96.7%	・引き続き、新たなレシピ開発を進める。	A	順調にレシピ数が増えている。	企画財政課



## 2 子育て・教育の充実したまち

数値目標	基準値	目標値（H31まで5年間）	達成度(29年9月末)
合計特殊出生率	1.61	1.90	H25～29の数値に基づきH31公表予定
学力・体力・体験		北海道トップレベル	H29調査結果11月以降公表予定

◇子育て世帯における経済的支援の一体的実施

KPI

子育てしやすいと感じる人の割合47.1%（H27アンケート調査）	増加	達成度(29年9月末)	—
認定こども園における待機人数（H27ゼロ）	維持	達成度(29年9月末)	維持

実施予定事業	事業目標	達成度(29年9月末)	取組内容	評価	現時点の進捗状況及び課題	担当課等
◇高校生世代までの医療費の無料化			H29年度9月末 子ども医療費助成事業受給者 97名 子ども医療費助成額 1,413千円 うち高校生世代受給者 63名 助成額 838千円	A	子育て世帯への経済支援により子育ての不安解消につながっている	保健福祉課
◇教育に係る保護者負担の軽減 ○幼児に係る保育・教育費の保護者負担の軽減 ・2km以上の遠距離通園者への補助  ○児童・生徒に係る教育費の保護者負担の軽減 ・就学援助  ・補助教材補助	保育料無料化  修学旅行経費の助成	保育料無料化実施	・認定こども園の保育料無料化の実施。 ・認定こども園までの往復の距離×2回×20円×通園日数の補助を実施 交付人数 25名  ・就学援助（学用品費・給食費・新入学用品・PTA会費・体育実技費・修学旅行費等）の実施 交付人数 小学生43名 中学生23名 ・補助教材補助 各小中学校児童生徒一人あたり2,000円分を各学校に配当 配当人数 小学生230名 中学校127名	A	（進捗状況） ・無料化等により利用児童が増えたため、施設が手狭になり、山開センター和室を保育室に改修中（平成30年4月より使用）。 （課題） ・通園者の一部に通園バスの運行要望があるが、通園費補助の定着が見られており、経費が嵩む通園専用バスの運行は現時点で想定していない。 ・早急な支援が必要な保護者に対しては、所得が確定する前に仮認定を行い支援しているが、新入学児童生徒への早期交付が検討課題となっている。 ・修学旅行経費助成のあり方について検討していく。	教育委員会事務局
◇子育て支援・少子化対策建設助成金交付事業		H29年度予算に対する進捗率18%	・新築住宅、中古住宅 30,000千円（予算額）	B	（進捗状況） ・新築住宅 2件 3,000千円 対象子ども 3名 ・中古住宅 4件 2,530千円 対象子ども 6名	建設課

◇出産や子育てにおける安心の確保

K P I

育児短時間勤務を導入している事業所数	増加	達成度(29年9月末)	—
--------------------	----	-------------	---

実施予定事業	事業目標	達成度(29年9月末)	取組内容	評価	現時点の進捗状況及び課題	担当課等
育児短時間勤務の推進			・無料職業紹介所の「企業登録申請時」などの機会に情報収集、PR活動を実施	B	各企業の実態把握方法を検討中	町民課
地域で育む子育てサロンの開設			<p>・認定こども園内に設置している「子育て支援センター」において、次の事業を実施</p> <p>1. 親と子が安心して過ごせる居場所として、子育てに向き合うゆとりと自信を高める場の提供</p> <p>　　&lt;すくすく広場&gt; 毎週月曜日  対象 0～2歳誕生日までの子どもと保護者・妊婦</p> <p>　　&lt;なかよし広場&gt; 毎週月・水・金曜日  対象 0歳～就学前の子どもと保護者</p> <p>2. 親子で取り組める製作や音楽リズム、外遊び等の提供</p> <p>　　&lt;なかよしチャレンジ&gt; 月1回 第2金曜日  対象 0歳～就学前の子どもと保護者</p> <p>3. 妊婦同士や地域との交流の場・機会の提供により母親の孤立を防ぎ、出産後の育児不安の解消を図る</p> <p>　　&lt;マミーズ広場&gt; 毎月第1木曜日・第3金曜日  対象 妊婦</p> <p>4. 同月齢の子どもを持つ母親同士や妊婦同士の交流、子育て相談や情報提供などの機会の提供により孤立を防ぎ、育児負担の軽減を図る</p> <p>　　&lt;ベビーズ広場&gt; 毎週木曜日  対象 0～1歳誕生日までの親子(第1子)・妊婦</p> <p>5. 集団での利用が苦手な親子を対象に、個人または少人数で利用できる場の提供</p> <p>　　&lt;ちいさな広場&gt; 毎週火・木曜日  対象 0歳～就学前までの子どもと保護者</p> <p>※参加者がいないことも多い</p> <p>6. 育児サークルの場に職員が出向き、育児相談や遊びの提供をして、子育てを通した仲間作りの応援をする</p> <p>　　&lt;子育てサークル支援&gt; 月1回 第2火曜日</p> <p>7. 来所時及び電話により子育てに関する様々相談に対し、育児不安の解消を図る</p> <p>　　&lt;子育て相談&gt; 毎週月～金曜日</p> <p>8. あそびの広場に認定こども園栄養士が出向き、子ど</p>	B	<p>(進捗状況)</p> <p>・保育料無料化に伴い、認定こども園に入園する児童が増加し、子育て支援センター利用者が減少傾向にあるが、遊びの広場の時間延長により、利用しやすいような事業設定に変更してきている。</p> <p>・上半期施設利用実績(延べ人数)</p> <p>　　大人 626名(昨年同期 670名)</p> <p>　　子ども 808名(昨年同期 769名)</p> <p>　　計 1,434名(昨年同期 1,439名)</p> <p>(課題)</p> <p>・認定こども園・保健師・子ども発達支援センターが連携を図り、要支援の児童や保護者への継続した支援を充実させていく必要がある。</p>	教育委員会 事務局

			<p>もの食事に関する不安・疑問を軽減する          &lt;栄養相談・栄養講話&gt;          栄養相談2回 ・ 栄養講話1回</p> <p>9. 認定こども園の給食やおやつを試食により、乳幼児期に適した食事やおやつ味の味・量などの理解を深める          &lt;ほろんランチ&gt; 年3回          &lt;ほろんおやつ&gt; 年2回</p> <p>10. 子育てに関する知識を学び、育児不安の軽減を図る          子育て講演の開催          &lt;子育て講演会&gt; 2回実施          &lt;子育て講座&gt; 1回実施</p> <p>11. 未就学年齢の子どもを持つ親子に、保育所の雰囲気やあそび、生活などの体験をしてもらう          &lt;私立保育所開放日&gt;          各私立保育所(2ヶ所) 年3回</p> <p>12. 育児疲れの解消、急病や就労形態の多様化などに伴う一時的な保育に対する需要に対応する為、一時的な保育を実施することにより児童の福祉の増進を図る          &lt;一時保育&gt;月～金曜日          対象 1歳～就学前の子ども</p> <p>13. 少子化・核家族化が進む中、仕事と育児の両立の為、地域において会員同士が育児に関する相互援助活動を行う事を支援する          ・安心して子育てができる環境づくり及び児童福祉の向上を図る          &lt;子育てサポート事業&gt;          会員の登録制(依頼会員・協力会員・両方会員)          料金 30分300円 (町より半額の助成)</p>		
病児・病後児保育事業の検討			<p>・病児・病後児保育を実施する管内の保育園、小児科医院の視察等を実施する。          ・音更町内小児科を視察          ・町内医療関係者と連携し、管内で病児・病後児保育実施個所の視察を実施し、具体的な検討を進めることとしている。</p>	<p>C</p> <p>(進捗状況)          ・管内の病児・病後児実施施設の概要を調査済み。          ・音更町内小児科を視察(課題)          ・さらに下半期に視察を実施し、本町での実施に向け、具体的な検討を進めていく。          ※子ども・子育て支援計画～平成31年実施に向け検討</p>	教育委員会事務局

◇豊かな子育てを支える質の高い学力・体力・多様な体験機会の体系化

KPI

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の平均記録（小学5年・中学2年実施）	北海道トップレベル	達成度(29年9月末)	平成29年度調査の結果は11月末頃に公表予定
全国学力・学習状況調査の平均正答率	北海道トップレベル	達成度(29年9月末)	平成29年度調査の結果は平成30年度1月頃に公表予定
地域資源を生かした体験活動の推進	北海道トップレベル	達成度(29年9月末)	一部、類似事業の統合等、体系化を進めている
地元からの上高進学率 38%（H23～27平均）	50%以上	達成度(29年9月末)	31% / 62%（29年入学者）

実施予定事業	事業目標	達成度(29年9月末)	取組内容	評価	現時点の進捗状況及び課題	担当課等
<p>◇学力・体力・体験の北海道トップレベルを実現</p> <p>○上士幌町子ども教育ビジョンの具現化 ～【「かみしほろ学園構想」(仮称)の策定】</p> <p>○幼児から高校まで一貫性のある教育プログラムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通教材の開発、導入</li> <li>・地域総ぐるみのキャリア教育(一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な意欲・態度や能力を育ていく教育)支援</li> </ul>	<p>○全国学力・学習状況調査より(小学6年・中学3年実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の夢や目標を持っている児童・生徒</li> </ul> <p>小学校 89% 中学校 68% (H22～26平均) → 100% (H31)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業以外の勉強時間1時間以上の児童生徒の割合</li> </ul> <p>小学生 平日 43% 土日 51% (H22～26平均) → 80%以上 (H31)</p> <p>中学生 平日 57% 土日 59% (H22～26平均) → 90%以上 (H31)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食を毎日食べている児童生徒の割合</li> </ul> <p>小学生 99% 中学生 93% (H23～26平均) → 100%</p> <p>維持継続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査の平均正答率 → 北海道トップレベル</li> </ul>	<p>平成29年度全国学力・学習状況調査の集計は11月末頃に公表のため、達成度表示できず</p>	<p>組織改編を行い、かみしほろ学園を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かみしほろ学園推進本部の取組</li> <li>・連携教育部会の取組</li> <li>・研修開発部会の取組</li> </ul>	B	<p>(進捗状況)</p> <p>かみしほろ学園の組織改編(3部会、1室)を行い、かみしほろ学園を推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かみしほろ学園推進本部の取組</li> </ul> <p>①役員会の開催(5回)。 ②かみしほろ学園推進本部だよりの発行(4回)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連携教育部会の取組</li> </ul> <p>①幼保小中高の子ども達と一緒にいる持続可能な地域社会をつくるための教育(ESD)実現に向けた取組。 ②漢字検定、英語検定、数学検定の実施(英検1回、漢検1回)。 ③中学3年生、高校2年生を対象とした「カタリ場北海道」の出前授業(6/26、7/14)を通じたキャリア教育の推進。 ④吹奏楽器の購入・修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修開発部会の取組</li> </ul> <p>①かみしほろ学園教育研究大会の実施(日時:10月3日 75名参加)。 ②自己管理手帳「iBノート」の導入と活用(認定こども園シール帳、小学校ノート、中学校手帳、高校手帳、4月配付済み)。 ③子育てサポートブック「アーチ」の作成と配布(上小新入生他50名に配布)。 ④芸術鑑賞会の実施(小学校9/1)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育研究・複式教育部会の取組</li> </ul> <p>①家庭学習の手引き発行(4月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他</li> </ul>	<p>教育委員会事務局</p>

<p>○地域とともにある学校づくり「コミュニティ・スクール制度」の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度から導入</li> </ul> <p>○課外活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師等の積極的な課外活動での活用</li> <li>・少年団から高校までの課外活動の環境整備と指導者の確保</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクール委員会・研修会の開催。</li> <li>・各小中学校、学校運営協議会の開催。</li> <li>・全国CS研修会への参加（岐阜市 3名参加）。</li> <li>・コミュニティ・スクールコーディネーターの配置。</li> <li>・CSレター「きずな」の発行（13～19号）。</li> <li>・「ゆめ育」応援団の募集と登録 （現登録数 企業32、団体2、個人66）</li> <li>・2017川柳コンテストの実施（78名174作品）。</li> <li>・来年度から認定こども園にコミュニティ・スクールを導入するための準備。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校及び上士幌高校の吹奏楽部への外部講師招聘</li> <li>・小中高の卓球部への、外部講師招聘</li> <li>・吹奏楽部や卓球部などの活動で、中学校と高校、少年団と中学校の指導者同士が連携。</li> </ul>	<p>①秋田県東成瀬村教育視察の実施 （日時：6月25日～27日 8名参加）。</p> <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な教育、iBノート、サポートブック「アーチ」等の取り組みを軸に、一層、幼保小中高連携を進める。</li> </ul> <p>（進捗状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクール委員会・研修会の開催（各2回開催）。</li> <li>・各小中学校、学校運営協議会の開催（各3回開催）。</li> <li>・全国CS研修会への参加（岐阜市 3名参加）。</li> <li>・コミュニティ・スクールコーディネーターの配置。 上士幌小学校（週2日）、上士幌中学校（週1日）に駐在し、CSレター（カレンダーを含む）の作成、学校と地域の連絡調整等を行っている。</li> <li>・CSレター「きずな」の発行（13～19号）。</li> <li>・「ゆめ育」応援団の募集と登録 （現登録数 企業32、団体2、個人66）</li> <li>・2017川柳コンテストの実施（78名174作品）。</li> <li>・来年度から認定こども園にコミュニティ・スクールを導入するための準備。</li> </ul> <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CSコーディネーターの役割を強化し、各学校運営協議会の活性化と、「ゆめ育応援団」の機能の充実及び町民に対する情報発信を図ることが必要である。</li> </ul> <p>（進捗状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校及び上士幌高校の吹奏楽部への外部講師招聘（4回）</li> <li>・小中高の卓球部への、外部講師招聘（1</li> </ul>
--	--	--	--	---

<p>○確かな学力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数学級教諭の配置</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームティーチングによる習熟度別指導の実施</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校への専科教諭配置の検討</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜学習の実施</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後対策の充実</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・一流プロジェクト事業の実施</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上士幌小学校1年・2年・4年・5年を2学級に分け、小1プロブレムの解消と児童一人ひとりと向き合える35人以下学級の実施による教育活動を推進（教諭4名配置）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上士幌小学校3年生・6年生の学級に学校教育推進支援教員を各1人配置し、習熟度別指導ができるような体制整備を図る（TT2名配置）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育と音楽のTTを配置し、体力向上や芸術分野における豊かな感性の育成と合わせ、各教員が子ども達一人一人と向き合える体制整備を図る（TT2名配置）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一部業務委託を行い実施 ※イングリッシュゲーム、サイエンス、自然体験等</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各小学校で「ゆめ育」応援団等と連携・協働して「放課後ほろんクラブ」を実施。</li> </ul>	<p>回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹奏楽部や卓球部などの活動で、中学校と高校、少年団と中学校の指導者同士が連携。</li> <li>・一流プロジェクト事業の実施（実施内容について検討中）。</li> </ul> <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに他の課外活動における、外部講師の活用による、少年団と中学校、中学校と高校等の連携。</li> </ul> <p>（進捗状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数学級教諭や学校教育推進支援教員・専科教諭の配置による体制の整備により、きめ細かな学習・生活の指導を進めてきている。</li> </ul> <p>（進捗状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一部業務委託を行い実施（16回） ※イングリッシュゲーム、サイエンス、自然体験等</li> <li>・類似事業の自然探検クラブとの統合により事業の効率化と充実を図った。</li> </ul> <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムの充実等による参加者の増加。</li> <li>・地域人材を活用した事業の実施。</li> </ul> <p>（進捗状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各小学校で「ゆめ育」応援団等と連携・協働して「放課後ほろんクラブ」を実施（9回）。</li> </ul>	
--	--	--	---	---	--

<p>・外国語活動教育の推進</p> <p>・読書の推進</p>			<p>・土曜学習（イングリッシュゲーム）を通じた英語学習の実施。</p> <p>・小中高等学校に外国語指導助手を派遣。上士幌小学校に週3日常駐し、外国語活動のみではなく、その他の授業や放課後活動にも一緒に参加することにより、コミュニケーション能力を向上させる。</p> <p>・認定こども園に外国語指導助手が常駐。私立保育所にも月1回ペースで出向き、外国語に親しむとともにコミュニケーション能力を向上させる。</p> <p>・読書コーディネーターを町内小中学校に駐在させ、司書教諭とともに計画的に学校図書室の整備・充実に努める。</p> <p>・認定こども園、小中学校における図書の購入。</p> <p>・中学校におけるゆめ育応援団による図書整備。</p> <p>・図書館、お話し「カッコウ」、ゆめ育応援団等による読み聞かせの実施。</p> <p>・図書館の事業（巡回文庫、ブックスタート、図書館講演会等）の実施。</p> <p>・子どもの本の普及のための講演会等の実施。</p>	<p>※なめこ栽培、スイーツ作り、理科実験等 （課題）</p> <p>・体験内容の魅力化</p> <p>・地域の様々な人材と連携を進め、より充実した放課後対策。</p> <p>（進捗状況）</p> <p>・読書コーディネーターを上士幌小学校（週2日）、上士幌中学校（週1日）駐在させ、司書教諭とともに計画的に学校図書室の整備・充実に努めている。</p> <p>・上士幌中学校におけるブックキャラバンの実施（6/30）。</p> <p>・中学校におけるゆめ育応援団による図書整備（毎週水・木曜実施）。</p> <p>・図書館、お話し「カッコウ」、ゆめ育応援団等による読み聞かせの実施（適宜実施）。</p> <p>・図書館の事業（巡回文庫、ブックスタート、図書館講演会等）の実施（適宜実施。10/20 図書館講演会実施）。</p> <p>・子どもの本の普及のための講演会等の実施（10/14 絵本作家による講演会を実施）。</p> <p>（課題）</p> <p>・「上士幌町第1期子どもの読書推進計画」に基づき、地域全体で、子どもの読書推進を図る必要がある。</p>	
----------------------------------	--	--	--	---	--

<p>○体力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ環境の整備</li> </ul> <p>・少年団活動、部活動の活性化</p> <p>○地域資源を生かした体験活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土を学ぶ体験、自然環境を生かした体験、基幹産業に触れ合う体験</li> <li>・体験活動の単位化を検討</li> </ul>	<p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査の平均記録（小学5年・中学2年実施）</p> <p>→北海道トップレベル</p> <p>○上士幌まるかじり体験学校（仮称）の開設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を活かした体験活動の体系化</li> <li>・本町の自然環境を活かした体験活動を開発</li> </ul>	<p>平成29年度体力・運動能力、運動習慣等調査の集計は平成30年1月頃に公表のため、達成度表示できず</p>	<p>《その他学力向上に向けた対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査により子ども達の学力が二極化傾向にある。公教育のサポートとして生徒個々の学力に応じた個別指導の対策を進めていくために、「公営塾」設立の検討に向け、実績のある民間事業者へ委託し、夏期講習と冬期講習を実施。</li> <li>・野外体育施設の整備。</li> <li>・テニスコート照明増設工事等を実施。</li> <li>・各種スポーツ大会の実施。</li> <li>・各種スポーツ教室の実施。</li> <li>・スキー普及対策事業の実施。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少年団体験会の実施。</li> <li>・スポーツ振興助成の実施。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育、学校教育、観光等の各分野において、様々な地域資源を生かした体験活動の実施。</li> <li>・体験の効果を客観的に捉えるIKR調査を行い、子ども達の変化・変容を測定する。</li> <li>・自然環境教育推進事業として、認定こども園、小中学校において体験学習の実施。</li> <li>・上士幌高校において地域資源を生かした「上士幌学」</li> </ul>	<p>（進捗状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公営塾（夏期無料講習）の実施 対象 上士幌中学校生徒 時期 7/25～8/25 受講率 69%</li> </ul> <p>（進捗状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テニスコート照明増設工事、格技場簡易トイレ購入等の体育施設整備を実施。</li> <li>・町民マラソン大会、ソフトテニス大会、水中レクリエーション祭りほか各種スポーツ大会の実施。今後、スキー及びスケート大会を実施。</li> <li>・子ども向け水泳教室の実施。今後、幼児体操教室、スキー及びスケート教室を実施。</li> <li>・スキー普及対策事業については、ぬかびら温泉スキー場オープン時に実施。</li> </ul> <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化により、今後の施設運営について検討が必要である。</li> <li>・各種大会、教室の実施については、見直しを行いながら、より参加しやすい事業実施を図る必要がある。</li> </ul> <p>（進捗状況）</p> <p>少年団体験会の実施（4/23、参加者：37名）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全道・全国大会への出場者に対し、参加に係る経費の一部を助成している（13件60名）。</li> </ul> <p>（進捗状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かみっ子ふるさと体感塾（3回）を実施し、体験の効果を客観的に捉えるIKR（生きる力）調査を行った。</li> <li>・事業の充実と効率化を図った。</li> <li>※「土曜学習の実施」参照</li> <li>・放課後対策事業</li> </ul>
--	--	---	--	--



<p>○子ども発達支援センター事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児からの適切な発達を促す取り組みの推進</li> <li>・途切れのない支援体制確立</li> </ul>	<p>○乳幼児からの適切な発達を促す取り組みを通じて、発達のアンバランスな子どもの軽減につなげる。</p>	<p>の教科化。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業実施</li> <li>・発達相談</li> <li>・関係者とのケース会議を必要に応じて開催。</li> <li>・就学前幼児の成長発達を促す全身運動を通し、身体の基本づくりと家庭での取り組みを支援する新事業「みにーず」（幼児グループ活動）の実施</li> <li>・通所支援事業（児童発達支援）「にこにこ教室」</li> <li>・通所支援事業（放課後デイ）「ユースクラブ」小学生から高校生まで</li> <li>・私立保育所・認定こども園・小中高校への定期的な訪問の実施。</li> <li>・関係者向け、町民向け、子ども向け研修会の実施。</li> <li>・心理士による検査、作業療法士による指導。</li> <li>・委託事業 北斗病院による指導</li> </ul>	<p>※「放課後対策の充実」参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習ラリーの事業内容の充実（チーム制、商店街で体験等）を図り、地域資源を活かす体験プログラムを実施（10/7、17チーム65名参加）。</li> <li>・自然環境教育推進事業としてNPOひがし大雪自然ガイドセンターに委託し、認定こども園、小中学校において体験学習の実施（20回）。</li> </ul> <p>※自然の宝さがし、はだして歩こうほか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校における「上士幌学」の教科化 上士幌町及び十勝の自然、郷土史、特産品開発（受講生26名、88回実施予定）。</li> </ul> <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな体験活動の開発</li> <li>・幼保小中高のつながりを意識し、発達段階に応じた体験プログラムの構築等、町全体の体験活動の体系化</li> </ul> <p>（進捗状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上半期実績（延べ件数） <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 発達相談件数 45件</li> <li>(2) 通所支援件数 684件</li> <li>(3) 母子保健協力件数 4件</li> <li>(4) 関係機関との連携 30回</li> </ul> </li> <li>・生涯学習センター「わか」への移転後は、各種の感覚統合器具の装備と利用スペースの確保により、発達を促す取り組みの充実が図られた。</li> <li>・「かえるの広場」を開催するなど保護者の交流機会の提供に努めた。</li> <li>・関係者向け研修会 3回 子ども向け研修会 1回</li> </ul>	
<p>◇魅力ある上士幌高等学校の振興支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の支援による活性化</li> <li>・キャリア教育（一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な意欲・態度や能力を育てていく教育）の推進</li> <li>・学力向上、進学対策の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元からの上士幌高校進学率 38%（H23～27 平均）→50%以上</li> <li>・定員 80 人の入学生確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元からの進学率 平成 29 年 31%</li> <li>・入学者数 平成 29 年 80 名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年度からの振興策の主な変更点 <ul style="list-style-type: none"> <li>①通学全額補助を 8 割補助へ減額（H29 入学者より）</li> <li>②入学準備金の支給対象追加（士幌町）と支給額減額</li> <li>③新制服購入全額補助（H29 入学者より）</li> <li>④大学入学奨学金増額（H29 入学者より） 他</li> </ul> </li> </ul>	<p>B</p> <p>（進捗状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更に魅力ある選ばれる高校としていくため、平成 30 年度振興策の見直しを決定し、地元はもとより、士幌町・音更町・帯広市の各中学校訪問を実施（2回 7</li> </ul>	<p>教育委員会事務局</p>

・遠距離通学者や通学困難者の民間下宿、又は寮整備の検討			⑤講習会（公営塾）の受講対象地域の士幌町追加 ・平成30年度振興策の見直し ・近隣市町村への中学校訪問による働きかけの実施	月・10月）。 ・公営塾（夏期無料講習）の実施 対象 上士幌町・士幌町在住上高生 時期 7/25～8/25 受講率 24%	
◇幼児から高齢者までが互いに学び育つ生涯学習センターを活用した世代間交流の促進（H28）	施設年間利用者数 44,500人（H26） （学童保育所・発達支援センター含）→84,500人（H29） H30以降各年1,800人増	・平成29年度7月～9月入館者数 59,696人	・学童保育所、発達支援センター、生きがいセンター、図書館等の機能が集約された生涯学習センター「わっか」の供用が6月1日に開始された。 「まちが 町民が 元気になる 集いや出会いあふれる ふれあいの場」を基本コンセプトに、子どもからお年寄りまでが生き生きと過ごせる世代間交流を促進する。	A （進捗状況） ・生涯学習センター「わっか」が開館し、サークル活動や会議、講演会等の利用が進んでいる。また、カフェくれよんの営業等もあり、交流の場、憩いの場としての機能も果たしている。 （課題） ・諸室の稼働率をさらに上げる。 ・町民の活用をさらに進める。	教育委員会事務局

◇子どもの健やかな成長支援

KPI

妊婦相談実施率	100%	達成度(29年9月末)	100%			
赤ちゃん訪問実施率	100%	達成度(29年9月末)	100%			
乳幼児健診受診率	100%	達成度(29年9月末)	100%			
実施予定事業	事業目標	達成度(29年9月末)	取組内容	評価	現時点の進捗状況及び課題	担当課等
◇妊婦相談（H26 100%）	100%	19人・100%	・全ての妊婦と面談を実施	A	妊娠期から子育て支援を充実させるために妊婦面談を継続する。	保健福祉課
◇赤ちゃん訪問（H26 100%）	100%	赤ちゃん訪問（H29 14人・100%）	・全ての赤ちゃんと保護者に対し家庭訪問を実施	A	訪問不可の場合でもその他の方法で状況把握することを継続する。	保健福祉課
◇乳幼児健診（H26 98.6%）	100%	乳幼児健診（H29 38人・100%）	・対象者全ての乳幼児健診を実施	A	未受診の場合でもその他の方法で状況把握していく。	保健福祉課
◇子ども発達支援センター事業の充実 ・乳幼児からの適切な発達を促す取り組みの推進 ・途切れのない支援体制確立	乳幼児からの適切な発達を促す取り組みを通じて、発達のアンバランスな子どもの軽減につなげる		「◇豊かな子育てを支える質の高い学力・体力・多様な体験機会の体系化」の「○子ども発達支援センター事業の充実」と同じ内容のため、記載省略	B		教育委員会事務局

◇命の尊さを確認し心豊かな成長と家庭形成に向けた支援

KPI

生教育モデルに基づいた認定こども園、小学校、中学校での授業の実施率	100%（H26 100%）	達成度(29年9月末)	100%
学童・思春期に対する心の健康講座実施率（中学校・高校・保護者）	100%（H25 高校生実施）	達成度(29年9月末)	66%
20歳から39歳まで女性有配偶者率	増加	達成度(29年9月末)	—

実施予定事業	事業目標	達成度(29年9月末)	取組内容	評価	現時点の進捗状況及び課題	担当課等
◇生教育事業 ・発達段階に応じた生教育の実施	生教育モデルに基づいた認定こども園、小学校、中学校での授業の実施率 →100%(H26 100%)	100%	・中学校3回、小学校2回(統合して実施)、年長児1回を継続実施	A	(進捗状況) 学校との連携のもと、中学校2回、小学校1回授業を予定通り実施。 今後11月に年長児の教室、H30.1月に小学校、H30.3月に中学校で授業を実施予定。	保健福祉課
◇こころの健康づくり支援事業 ・学齢期・思春期に向けた心の健康づくりに関する知識の普及 ・関係機関と連携した相談支援体制の強化	学童・思春期に対する心の健康講座の実施率(中学校・高校・保護者) →100%(H25 高校生実施)	66%	・発達支援センターとの共同開催による自殺予防に関する講座を実施	B	・10/30~11/1 教育ジャーナリスト 品川裕香氏による小中高生、支援センター職員対象の研修会を実施。 ・自殺予防の講座をH30.2月頃開催予定。 ・子ども達への直接アプローチできる先生や保護者に対して支援を実施する考えで事業を進めてきたが、多世代へのこころの健康に対する施策に包含して、発達支援センターとも共同展開する方向で検討中。	保健福祉課
◇家庭形成に向けた出会いの機会創出支援			取組の実施に応じて支援	B		企画財政課 商工観光課 農林課 農業委員会 事務局
◇子育てを通じた男女共同の推進支援		・「マミーズプラザ(妊娠期・講座I)」 実施2回 母親の参加7人 父親の参加1人 ・「カンガルー教室」 実施2回 母親の参加15人 父親の参加1人	・カンガルー教室、マミーズプラザの継続 ・「◇出産や子育てにおける安心の確保」の実施予定事業「地域で育む子育てサロンの開設」に記載。	B	(課題) 父親の参加について、参加しやすい事業の検討や個別に勧奨が必要。	保健福祉課 教育委員会 事務局

### 3 健康で安心して暮らせるまち

数値目標	基準値	目標値（H31まで5年間）	達成度(29年9月末)
健康寿命の延伸（不健康な期間の短縮）	【平均寿命－健康な期間の平均＝不健康な期間の平均】 (H25) 男性 81.84 歳－80.52 歳＝1.32 歳 (H25) 女性 86.88 歳－83.39 歳＝3.49 歳 ※厚生労働科学研究費補助金 「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」より	男性 1.0 歳 女性 3.0 歳	(厚生労働省の推定値、国民生活基礎調査を基に算定するため今年度は算出できず)
要介護認定率	17%（H27年6月現在）	19.0%（H32年第6期介護保険事業計画値20.16%）	18.3% / 96%

#### ◇健康管理の習慣化を促進

##### KPI

乳がん・子宮がん検診受診率	100%	達成度(29年9月末)	子宮 32.9% 乳 39.5%
特定健診実施率	60%	達成度(29年9月末)	46.2% / 77.0%
肥満（BMI25以上）の人の割合	28%	達成度(29年9月末)	29.4% / 95.0%

実施予定事業	事業目標	達成度(29年9月末)	取組内容	評価	現時点の進捗状況及び課題	担当課等
◇生活習慣病の発症・重症化予防の推進 ・特定健康未受診者への勧奨 ・健診結果説明会の充実 ・健診受診者へのスタンプポイント事業 ・食育に関する普及啓発促進	特定健康診査実施率→60% (H21～H25 平均 42.6%) 特定保健指導実施率→65% (H21～H25 平均 59.6%) 肥満(BMI25以上)の人の割合→28% (H25 29.3%)	H28 速報値で 受診率 46.2% 実施率 69.8% H27 法定報告で 肥満割合 31.3%	・特定健診及び20～30歳代の基本健診の無料化 ・特定健診委託先の拡大 ・2次検査対象者拡大 ・健康マイレージ事業の継続 ・栄養コラムや健診会場の栄養改善に関する情報提供の充実	A	(進捗状況) 取り組み内容を順調に実施しており、未受診勧奨により、健診受診率は伸びている。 (課題) 保健指導に力を入れているが、その結果がBMIという指標に表れてくるには年単位の時間が必要。	保健福祉課
◇がん検診受診促進事業（医療との連携） ・乳がん予防キャンペーン講演会の開催 ・乳がん専用PET検診費用の助成	乳がん・子宮がん検診（好発年齢）受診率→100% (H26 19.8%) 胃がん・肺がん・大腸がん検診（好発年齢）受診率→20% (H26 17.0%)	H28 地域保健報告で 子宮 32.9% 乳 39.5% 胃 19.5% 肺 15.3% 大腸 15.7%	・乳がん検診30歳代拡大 ・人間ドックの胃カメラ検診導入	A	(進捗状況) 女性がんについてはキャンペーン事業展開により受診率は伸びている。 (課題) 胃肺大腸の受診率が伸び悩んでいるため、特定健診と合わせて受診勧奨を継続することが必要。	保健福祉課
◇心の健康づくり推進 ・相談体制の整備 ・メンタルヘルスや自殺予防に関する普及啓発	自殺による死亡者数→0人 (年平均2人 ※H20～24)	2.2人 ※H24～28 ※H24～25 十勝保健福祉統計	・心の相談日継続実施 ・自殺予防講演会開催（発達支援センターとの共催） ・自殺対策強化月間に相談場所周知パネル展実施	B	(進捗状況) ・心の相談日実施により相談機会確保できている。 ・自殺対策強化月間にパネル展を実施し	保健福祉課

		※H26～28 町統計			自殺予防に関する普及啓発ができた ・自殺予防講演会は2月頃開催予定
--	--	-------------	--	--	--------------------------------------

◇地域包括ケアシステムの実現

KPI

小規模多機能型居宅介護利用者の登録者数	0人(H26末)→24人	達成度(29年9月末)	19人 / 79%
まるごと元気アッププログラムへの延参加人数	15,600人(月65人×48週×5年)	達成度(29年9月末)	3,469人 / 22%
地域活動支援センター等利用者数	13名(H26年8名)	達成度(29年9月末)	13名 / 100%

実施予定事業	事業目標	達成度(29年9月末)	取組内容	評価	現時点の進捗状況及び課題	担当課等
◇地域医療を支えるための医療従事者等の確保 ・医師・看護師等の確保対策支援 ◇24時間365日を支える医療・介護体制の整備 ・救急医療体制の充実 ・在宅支援診療所の整備 ・医療・介護の連携 ・セラピストによる在宅リハビリテーション支援の実施 ・発達障がい児へのリハビリアプローチ ・介護職員初任者研修実施事業	医療機関等の数の維持 診療所2カ所、歯科医院2カ所、調剤薬局2カ所 訪問診療件数 (町内医療機関2カ所合計) 訪問看護件数(医療・介護含む) 訪問・通所リハビリの利用者数の増加 医療介護連携にかかる協議会開催数→年3回(H28中に協議体設置)	・維持できている 訪問診療件数 延 782人 訪問看護件数 延 75件 訪問リハビリ利用者数 通所リハビリ利用者数 ・関係機関との協議と上士幌クリニックとの協議を計5回実施	・訪問診療件数(1カ所) 年間延べ 782件 ・訪問看護件数 訪問看護ステーション 延べ訪問件数26回※ ※本別ステーションによる訪問看護は医療で1人。 上士幌クリニック訪問看護 延べ訪問件数49回※ ※月に4回(半日)程度の範囲内で実施。 ・訪問リハビリ 実利用者数 9月末 16人 ・通所リハビリ 実利用者数 9月末 53人 ・ケアマネに対する訪問看護利用促進に向けた研修会の実施。 ・上士幌クリニックの訪問看護体制の整備に向けた協議。 ・医療介護連携協議体を設置し、年4回協議を行う。 ・医療介護連携に係る関係職員の研修 年1回実施。 ・住民に対する在宅医療・介護に関する講演会実施。	B	(進捗状況) ・平成29年6月に介護支援専門員連絡会議を実施(訪問看護の利用促進について) ・平成29年4月～9月に医療・介護連携協議体(会議)を5回実施 ・平成29年10月に医療・介護関係者の研修、12月に住民に対する講演会を実施(予定) (課題) 研修、会議等の継続により、在宅・介護連携を図る	保健福祉課
◇介護度の維持及び重度化防止のための介護サービスの充実と利用促進 ・居宅・施設・地域密着型サービスの充実 ・介護サービスの質の向上 ・利用者負担への支援	介護度の改善率の上昇 施設サービス利用者の割合23.2%(H26末)→維持 小規模多機能型居宅介護利用者の登録者数0人(H26末)→24人	要介護認定更新・区分変更者における介護度維持・改善率 73.2%(9月末) 要介護認定率 18.3%(8月末) 施設サービス利用者 20.4%(8月末) 小規模多機能型登録数 19人(9月末)	・不必要な要介護認定をしないための住民説明充実。 ・医療・介護連携による小規模多機能型居宅介護の有効活用。	B	(進捗状況) ・有効期間内にサービス利用の実績がない対象者へは更新しないことを勧奨している ・老健退所後の受け皿となる在宅サービスとして小規模多機能型居宅介護を活用している (課題) 要介護認定者のうち約60名はサービスが未利用となっている現状があり、要介護認定更新時の説明が今後も必要	保健福祉課
◇介護予防の推進 ・健常時からの動機づけや生活習慣改善に向けた支援の強化 ・官・NPO・大学との協働事業の推進(健康づくり・生	まるごと元気アッププログラムへの延参加人数 15,600人(65人×48週×5年)	延参加人数3,469人 達成率 22.2%	・まる元の参加者を増やすため、積極的な周知を図る。 ・年1回のお元気度測定会の実施によって、心身機能の低下がみられる者を早期発見、早期対応を図る。	B	(進捗状況) 登録人数が定員75名に対し68人となり、徐々に増えてきている。 8月末にお元気度測定会を実施し、11	保健福祉課

<p>きがづくり・人づくりに効果)</p>				<p>3名の参加があった。結果説明会を行い、機能低下がある方には介護予防に関する相談に応じた。</p> <p>(課題)  まる元運動教室及び測定会への参加者拡大。他の介護予防に係る事業、サービスとの連携</p>	
<p>◇認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普及啓発及びパンフレット作成</li> <li>認知症初期集中支援チーム検討委員会の開催</li> <li>認知症ケアパス作成</li> <li>高齢者の見守り体制の構築</li> </ul>	<p>認知症施策にかかる協議体の設置及び協議会開催数→年3回</p> <p>認知症初期集中支援チーム(専門サポート医等による対応 事例数)→年3事例</p> <p>認知症ケア講演会の実施</p> <p>認知症カフェの数→1か所</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>十勝広域2回 町主催1回</li> <li>平成29年度2事例実践中。1事例は調整中</li> <li>講演会は未実施</li> <li>認知症カフェの開催(8月実施済・11月予定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集中支援チームによるサポート 4事例</li> <li>認知症に関する知識の普及啓発 サロン等での講座</li> <li>新たな徘徊見守りシステム(通信)の整備検討</li> </ul>	<p>(進捗状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>専門医療機関への委託によりサポート医を確保し、対象となる事例を支援している</li> <li>認知症カフェやサロン等での普及啓発を展開している</li> </ul> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>認知症初期集中支援チームの普及啓発は継続して行い、対象者の早期支援に努める</li> <li>新たな見守りシステムの検討</li> <li>新たな省電力遠距離通信機器の活用で外出時にも対応可能な見守りシステムの構築に向けて調査検討中。深夜、休日などに徘徊した際に駆けつける人員体制の整備と一時保護する場所が課題</li> </ul>	<p>保健福祉課</p>
<p>◇住民のニーズに適応した隙間のない支援と住民による支えあい活動により高齢者が不安なく過ごせる環境づくりを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉協力員制度創設事業(高齢者等見守り体制の構築)</li> </ul> <p>◇買い物や通院、見守りを支援する仕組みの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緊急通報システム</li> <li>除雪費助成事業</li> <li>高齢者等福祉バスの運行</li> <li>地域における互助活動推進(自主防災組織・サロン等)</li> <li>元気高齢者による買い物代行サービスの実施</li> </ul>	<p>小地域ネットワーク活動等地域活動の数→各行政区に1か所</p> <p>生活支援にかかる協議体の設置及び協議会の開催数→年2回</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議体の設置は、当面生活支援体制整備に係る研究会から移行して設置</li> <li>協議会は未実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町と社会福祉協議会で町内会へ活動の実態調査を開始する。まず、地域ごとの実態を把握するとともにその地域に何が必要か、町全体としての新たなサービスが必要かを検討する。将来的には日常の声掛け体制や自主防災組織、地域サロンへの発展を望む。</li> <li>高齢者等福祉バス運行経路拡大とバス運行でカバーできない細かな移動サービスへの対応検討(通院サービスの検討など)</li> </ul>	<p>○実態調査</p> <p>(進捗状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4月の市街地連絡協議会の役員会にて、実態調査の説明の後、社協事業において、6区、8区、9区に小地域ネットワークの構築について案内した。</li> <li>11月1日、9区役員との地域状況ヒアリングを経て、必要と思われる世帯に訪問(アウトリーチ)する。</li> </ul> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社協主体(地域福祉コーディネーターまたは、生活支援コーディネーターによる企画、立案、実施主体)となっていないこと。</li> <li>調査及び調査後の課題解決に対する人員体制</li> </ul> <p>○高齢者等福祉バス</p>	<p>保健福祉課</p>

					<p>(進捗状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習センターのリニューアルの際に、市街地の販路拡大とともに、最終便の運行時間を早めた。</li> </ul> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運行対象の拡大（コミュニティーバス化）を検討するとともに、バス以外で対応できない細かな移動支援の検討。ただし、移動支援だけではなく、活動する場（気軽に集える場）の創出も合わせて行う必要がある。</li> </ul> <p>○緊急通報システム</p> <p>(進捗状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな見守りシステム構築の際に、緊急通報システムの外出時対応について合わせて検討する。</li> </ul> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外出時の緊急通報連絡がなされた場合の対応人員体制の整備が必要。</li> </ul>	
<p>◇高齢者の住まいの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者見守り付安心住宅の整備</li> <li>・住宅改修やリフォーム費用の助成事業</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅改修14件、うち上乗せ助成2件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の在宅生活を支えるため、必要な改修を行っていく</li> </ul>	B	<p>(進捗状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅改修14件、うち上乗せ助成2件</li> </ul> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症や単身の高齢者が増加しているため、高齢者見守り付き安心住宅の整備が課題</li> </ul>	保健福祉課 建設課
<p>◇権利擁護センター機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度をはじめとする権利擁護事業の利用促進</li> </ul>	<p>市民後見人養成研修の受講者数6人(H26年度)→15人</p> <p>権利擁護センター(法人後見)の成年後見制度受任件数1人(H27年8月)→5人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度市民後見人養成研修受講者8名</li> <li>・権利擁護センターとしての受任件数0件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民後見人養成研修の実施(近隣町との共同開催)により、法人後見(社会福祉協議会)の実施に備える。</li> </ul>	B	<p>(進捗)</p> <p>近隣3町との共同により養成研修を実施</p> <p>(課題)</p> <p>修了者の登録と今後の活動支援と権利擁護センターの機能充実を図る</p>	保健福祉課
<p>◇生きがいづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者等の外出の機会を増やし、生きがいとなる活動の機会と働く場を確保する</li> <li>・高齢者の居場所づくり(地域サロンの開催・まちなかサロン・サークル活動・老人クラブ活動など)</li> <li>・地域活動ボランティアの育成</li> <li>・元気高齢者の短時間就労の構築</li> </ul>	<p>65歳以上で週1回、各種活動の参加割合→70%</p> <p>福祉ボランティア登録人数(社会福祉協議会所管)→80人</p> <p>生きがい事業団(仮称)の設置→1か所</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活圏域ニーズ調査結果に見える「週1回以上の外出がある」人の割合86.8%</li> <li>・福祉ボランティア登録人数維持</li> <li>・ボランティアポイント制度登録者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアポイント事業の運営主体を社協のボランティアセンターに移行して実施。</li> <li>・小地域ネットワーク立ち上げのモデル地域を作り閉じこもり等の実態調査からサロン立ち上げ、継続支援までサポートを行う。</li> </ul>	C	<p>(進捗)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社協でボランティアポイント事業の運営を行い、軌道に乗りつつある。</li> </ul> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア登録者の拡大と受け入れ機関の増加や活動内容の拡大</li> </ul> <p>○実態調査</p> <p>(進捗状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地行政区連絡協議会役員会にて、</li> </ul>	保健福祉課

		29人(増減なし)			<p>調査内容を周知。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社協実施の小地域ネットワーク事業において、6区、8区、9区との懇談。</li> <li>・11月1日に9区役員との懇談を経て、実態調査を行う。</li> </ul> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査及び調査後の課題解決に対する人員体制。</li> </ul>	
<p>◇障がい者雇用の促進・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元企業への就労の理解</li> <li>・障がい者福祉的就労の場の確保</li> </ul> <p>◇国等による障がい者就労施設等からの物品等の調達 の推進</p>	<p>障がい者就労継続支援B型事業所の設置→1か所</p> <p>物品等の調達目標 2,000千円(1,501千円 H26・1,571千円 H27)</p> <p>(現状:花苗・指定ごみ袋保管・配送業務・花壇整備・管理業務など)</p>	<p>就労継続支援B型事業所 1カ所</p> <p>物品等の調達実績 2,032,605円 101.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労継続支援B型事業所の運営費を補助する。</li> <li>・同事業所が運営する生涯学習センター内カフェ及び清掃委託業務に要する物品導入を補助する。</li> <li>・就労支援事業の拡大等に資するため地域おこし協力隊を募集する。</li> <li>・町が障がい者就労施設等から物品等の調達</li> </ul>	B	<p>(進捗状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・B型事業所において、H29.6から生涯学習センター内でカフェの運営と清掃委託を受注したことにより雇用の拡大となった。</li> </ul> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・B型事業所の支援員(人材)の確保及び利用実績向上による安定的な事業所運営。</li> <li>・物品調達推進～工賃向上のため、施設等と協議し、実施可能な業務の確認作業を行う。</li> </ul>	保健福祉課
<p>◇町内障がい福祉サービス事業所(地域活動支援センター等)への通所利用促進</p>	<p>地域活動支援センター等 利用者数(H26年8名)→13名</p>	<p>利用者数 13名 100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・潜在的な利用ニーズの把握に努める。</li> </ul>	B	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・潜在的な利用ニーズの把握及び関係機関との連携。</li> </ul>	保健福祉課



#### 4 移住定住による人口減少をくい止めるまち

数値目標	基準値	目標値（H31まで5年間）	達成度(29年9月末)
転入・転出入口	転出超過250人（2010～2014）	転入155人 転出90人（転入超過65人）	転入超過 156人 / 240.0% (H27年度 48人、H28年度 67人、H29.10末 41人)

◇ひとの流れをつくる多様な就労拠点の整備と地域住民による受け入れ体制の構築

KPI

移住相談件数に対する移住件数の割合1.5%（過去5年）	2.0%/年	達成度(29年9月末) 2.7% / 135%
-----------------------------	--------	-------------------------

実施予定事業	事業目標	達成度(29年9月末)	取組内容	評価	現時点の進捗状況及び課題	担当課等
◇テレワークの推進			・事業を継続し、新たな活用企業の誘致、受け入れを行う。	C	（進捗状況） 平成28年度に事業を活用した株式会社トラストバンクが、事業終了後も継続してコールセンターを運営している。 （課題） 新たな活用企業の誘致に向けたPRを強化する必要がある。	企画財政課
◇企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）の活用				C	（課題） 本制度を活用できる事業実施の予定がない。今後、対象となる新規事業等の実施にあわせ活用する。	企画財政課
◇町民が上士幌町の魅力を伝える事業（道の駅整備等と連携）			・道の駅基本設計、ナイタイ高原牧場レストハウス基本設計・実施設計の実施。関係団体・住民による「道の駅等整備推進委員会」を設置し、9月末現在2回開催し検討を進めている。 ・各施設の運営主体となる「上士幌町観光地域づくり推進法人（DMO）」設立の検討も同時に行っており、基本設計に関わって進めている。	A	（進捗状況） ・10月中にナイタイ高原牧場レストハウス基本設計が完了し、11月には実施設計業務を進める予定である。 ・「上士幌町観光地域づくり推進法人（DMO）」のコンセプト、組織体制案、事業展開案を作成してきている。 今後、事業計画案・収支試算案の検討を進め、翌年度早々の設立に向けた取り組みを推進していく。	商工観光課

◇かみしほろの発信力と価値の向上による交流と定住促進

KPI

イベント参加人数に対する相談件数割合3.3%	4.0%/年	達成度(29年9月末) 32% / 800%
ふるさと納税特典品として旅行商品を開発することによる入込客数	50組100人増加	達成度(29年9月末) 340人 / 3400%
特別町民証の発行による来訪者数	500組1,000人増加	達成度(29年9月末) 0人 / 0%

実施予定事業	事業目標	達成度(29年9月末)	取組内容	評価	現時点の進捗状況及び課題	担当課等
◇移住定住プロモーションの推進	移住・二地域居住者数 15名(H26)→20名/年	7名	・上士幌暮らしセミナー①(東京) 8件 25名  【今後の予定事業】 ・北海道暮らしフェア(東京) 11月 ・北海道暮らしフェア(大阪) 10月 ・北海道暮らしフェア(名古屋) 10月 ・上士幌暮らしセミナー②(東京) 12月又は1月 ・5町合同暮らしセミナー(東京) 11月	B	(課題) ・移住相談件数を増加させ、移住・二地域居住者を増加させるために、継続的に上士幌町に住んだ際の優位性のPRを行っていく必要がある。	商工観光課
◇ふるさと納税寄付者との交流の推進			・「上士幌まるごと見本市ツアー」を開催し、寄付者を上士幌町へ招く。	A	(進捗状況) 9月に1回目を実施。31名が参加。参加者からは好評価をいただいた。	企画財政課
◇移住・定住相談の充実	移住相談件数 470件(H26)→600件(単年度)	254件 42.3%	・プロモーション活動やホームページ・SNSの充実を図り、コンシェルジュへの相談件数増を図る。 移住相談件数254件 ・イベント時相談件数 8件 ・コンシェルジュへの相談 246件	B	(課題) ・移住相談件数を増加させ、移住・二地域居住者を増加させるために、継続的に上士幌町に住んだ際の優位性のPRを行っていく必要がある。	商工観光課
◇ふるさと納税による交流人口増加対策			・新たな滞在型の返礼品を検討中	A	(進捗状況) ぬかびら源泉クーポンを返礼品として開発。これまでに340人から寄付の申込をいただいた。 (課題) 特別町民証の発行を中止しており、特別町民証に代わる、返礼品に携わっている事業者が経営するカフェ等への誘導を図る電子地域商品券(QRコードを想定)の返礼品化を検討する。平成30年度運用開始に向け、事業者との協議を進める。	企画財政課

◇滞在や定住に柔軟に対応する多様な施設整備

KPI

生活体験住宅数	5棟(H26)→10棟(H31)	達成度(29年9月末) 8棟 / 80%
生活体験モニター参加者数	36組94名(H26)→50組150名(H31)	達成度(29年9月末) 28組69名 / 46%

実施予定事業	事業目標	達成度(29年9月末)	取組内容	評価	現時点の進捗状況及び課題	担当課等
◇生活体験住宅等の充実 ・生活体験住宅の推進 ・民間賃貸住宅を活用した定住支援 ・多様な生活体験住宅の整備			・生活体験住宅数 8棟 ※町設置～短期用2戸、中長期用4戸 NPO設置～中長期用2戸 ・上半期、生活体験モニター参加数 28組 69名	B	(進捗状況) ・生活体験住宅の2棟が使用できなくなったことから、前年同期比で減少している。 ・定住促進賃貸住宅助成事業申請状況	建設課 商工観光課

		定住促進賃貸住宅助成事業進捗率 70%	・定住促進賃貸住宅建設助成事業 43戸 60,000千円		24棟37戸 60,000千円 (課題) ・新たに生活体験住宅の増設を検討する必要がある。 ・定住促進賃貸住宅建設助成事業の効果の検証が必要となっている。	
--	--	---------------------	---------------------------------	--	--	--

## 5 小さな拠点形成を目指すまち

数値目標	基準値	目標値（H31まで5年間）	達成度(29年9月末)
転入・転出入口	転出超過250人（2010～2014）	転入155人 転出90人（転入超過65人）	転入超過 156人 / 240.0% (H27年度 48人、H28年度 67人、H29.10末 41人)

◇まちの整体（公共施設再編によるコンパクト化推進）

KPI

公共施設再配置	計画に基づく推進	達成度(29年9月末)
---------	----------	-------------

実施予定事業	事業目標	達成度(29年9月末)	取組内容	評価	現時点の進捗状況及び課題	担当課等
◇多機能型生涯学習センターの建設（H28）			<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習センター落成式の開催</li> <li>外構工事の実施。</li> </ul> 工期：平成29年7月～12月（予定）	A	（進捗状況） ・生涯学習センター落成式の開催（6/1） ・現在、外構工事が進行中。 工期：平成29年7月4日～12月8日	教育委員会事務局
◇老朽施設の解体撤去補助			町内の老朽施設の解体撤去に係る費用に対して1件当たり上限50万円を補助する。予算額：1,000万円	A	（進捗状況） 町内の老朽施設の解体促進が図られている 件数：11件 補助額：465万円	町民課
◇小規模まちなか挿入型住宅整備		H29年度予定事業に対する進捗率60%	まちなか居住を進めるため老朽化している公営住宅の建替として、まちなか挿入型の住環境を整備する <ul style="list-style-type: none"> <li>4棟8戸建設工事実施</li> </ul>	B	（進捗状況） まちなか住宅建設工事（2月完了予定） 2DK 1棟2戸、2LDK 2棟4戸3LDK 1棟2戸 来年度の入居に向け建替住宅居住者との調整や、条例等の整理を進める。	建設課
◇子どもや若者のための居場所づくり			<ul style="list-style-type: none"> <li>学童保育所、発達支援センター、生きがいセンター、図書館等の機能が集約された新生涯学習センター「わっか」の供用が6月1日に開始された。</li> </ul> 「まちが 町民が 元気になる 集いや出会いあふれる ふれあいの場」を基本コンセプトに、子どもからお年寄りまでが生き生きと過ごせる世代間交流を促進する。	A	（進捗状況） ・新生涯学習センター「わっか」が開館し、サークル活動や会議、講演会等の利用が進んでいる。また、カフェくれよんの営業等もあり、交流の場、憩いの場としての機能も果たしている。 （課題） ・諸室の稼働率をさらに上げる。 ・町民の活用をさらに進める。	教育委員会事務局

◇移動の利便性向上

KPI

農村部から市街地までの利便性に対する充足度（H27調査）	向上	達成度(29年9月末)
------------------------------	----	-------------

実施予定事業	事業目標	達成度(29年9月末)	取組内容	評価	現時点の進捗状況及び課題	担当課等
◇地域交通ネットワークの構築			・基本計画に基づき、交通ネットワーク拠点の設計及び工事を実施	A	(進捗状況) 交通ネットワーク拠点の設計が9月に完了し、整備工事を実施している。平成30年3月完成予定。 運営に向けた具体的検討を行っている。 (課題) 今後、拠点を核とした交通ネットワークのさらなる充実を図る必要がある。	企画財政課
◇国道等主要道路の整備拡充による第2次・第3次医療への移動時間の短縮	(関係機関に要請)		・整備拡充の実現に向け、引き続き要望等を行う。	A	(進捗状況) 自由民主党政策懇談会及び国・北海道に対する事業要望項目として、国道241号片側2車線化を要望している。	企画財政課

◇地域活性化拠点の整備

KPI

新規雇用人数	15人	達成度(29年9月末) —
--------	-----	---------------

実施予定事業	事業目標	達成度(29年9月末)	取組内容	評価	現時点の進捗状況及び課題	担当課等
◇重点道の駅「仮称バルーン」整備		—	・道の駅基本設計、ナイタイ高原牧場レストハウス基本設計・実施設計の実施。関係団体・住民による「道の駅等整備推進委員会」を設置し、9月末現在2回開催し検討を進めている。 ・各施設の運営主体となる「上士幌町観光地域づくり推進法人(DMO)」設立の検討も同時に行っており、基本設計に関わって進めている。	A	(進捗状況) ・10月中にナイタイ高原牧場レストハウス基本設計が完了し、11月には実施設計業務を進める予定である。 ・「上士幌町観光地域づくり推進法人(DMO)」のコンセプト、組織体制案、事業展開案を作成してきている。 今後、事業計画案・収支試算案の検討を進め、翌年度早々の設立に向けた取り組みを推進していく。	商工観光課

プラス・ワン 上士幌町創生包括プロジェクト 上士幌版生涯活躍のまち

数値目標	基準値	目標値（H31まで5年間）	達成度(29年9月末)
上士幌版生涯活躍のまちによる移住	—	30世帯50人	0人／0%

実施予定事業	事業目標	達成度(29年9月末)	取組内容	評価	現時点の進捗状況及び課題	担当課等
<p>◇上士幌版生涯活躍のまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大都市高齢者の地方移住支援</li> <li>・地域社会との協働、スキルや知見の地域還元推進</li> <li>・多様なプログラムや自主活動の構築により健康でアクティブな生活の実現</li> <li>・地域包括ケアによる継続的なケアの提供</li> </ul>			<p>・事業主体(まちづくり会社)を設立し、生涯活躍のまちの取組みを推進する。</p> <p>(主な取組み)</p> <p>①地域包括ケアの充実</p> <p>ア 介護人材の養成・確保(初任者研修実施)</p> <p>イ 地域包括ケアに対する評価と提言</p> <p>ウ 障がい者グループホーム及び障がい者就労事業検討</p> <p>②生涯活躍の場の創設</p> <p>ア 人材センター 仕事のマッチングにより、仕事の見つけやすい環境、働きやすい環境整備を行うセンター設立</p> <p>イ (仮称)生涯学習大学 中高年齢者が継続的に学び続けることのできる仕組みの検討と体制整備</p> <p>ウ まちなか空き家・空き地調査 まちなかで町民が起業にチャレンジする拠点となる資源の調査、活用方法検討</p> <p>⑤移住希望者募集</p> <p>アクティブシニア向け住宅・優良田園住宅地等の入居者募集</p> <p>アクティブシニア向け移住セミナー、相談会等の開催</p> <p>生涯活躍のまち体験者募集、希望者による現地見学会開催</p>	B	<p>(進捗状況)</p> <p>平成29年9月に、町及び関係団体が出資し(株)生涯活躍のまち かみしほろ(まちづくり会社)を設立し、9月末に業務委託契約を締結した。</p> <p>10月21日から介護職員初任者研修を実施するほか、他の事業についても検討を開始している。</p> <p>(課題)</p> <p>短期間の委託事業となることから、まちづくり会社と連携の上、計画的に事業を実施する必要がある。</p>	企画財政課 保健福祉課